



ひばりっこだより



vol.24

3月号

節分の豆まきでは、自分の身体の中にある『困った鬼』を豆をまいて退治する子どもたちの真剣な顔を見て、思わず微笑んでしまいました。市内あちこちの保育園が休園になる中、綱渡りのようにコロナの波をかいくぐってきましたが、とうとうひばりっこ保育園も陽性者が出て、保護者の皆様には多大なるご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。神奈川県・藤沢市保育課のコロナ感染の取り扱いも大きく変わり、濃厚接触者を特定せずに閉園しない方向で運営しています。その分保育園とご家庭で、しっかりとお子さんの健康状態を把握し、少しでも症状（熱・咳頭痛・のどの痛み・鼻水等）のある時は登園せずに自宅で様子を見て、必要なら通院をお願いいたします（ご家族の方が同様な症状の時もお願いします）。自宅で自粛をされている方もいらっしゃると思いますが、早くみんなでご過ごせるようになることを祈っております。

保育園の一年は本当にあっという間で、子どもたちの成長の早さに驚かされる毎日です。子育てに奮闘中の保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。保護者のみなさんのご理解なしには、一人ひとりを大切に作るひばりっこの保育は成り立ちません。保護者の皆様との信頼関係をより深める取り組みを、これからも続けていきたいと思っております。

リアルとバーチャル（ファンタジー）のはざままで

miyuki



コロナ過、自宅で過ごすことが多くなったこの頃、子どもたちの話題の中に《YouTube》《DVD》《iPad》《ゲーム》の話が多く出てきます。0歳児が人差し指で《スマートフォン》を操作する真似をする時代、当たり前のことになってきています。私たち大人も、調べたいことがあれば、すぐに《ググる》ことで簡単に答えが手に入るような便利な世の中になり、実際、私もその恩恵を受けている一人なので、世の中の流れを否定するわけではなく、どううまく使いこなしていくのかを考えていかなければいけないな…と老婆心ながら思いを寄せています。

子どもたち（特に乳児）にとって、見立て遊びは、実際に生きていく力を学ぶ原動力になっています。バーチャル（ファンタジー）の中でお母さんになったり、赤ちゃんになったり、お店屋さんになったり、時には怪獣にもアリさんにもなります。その中で、『リアルな現実の世界』を少しずつ受け入れていくのです。『リアル』と『バーチャル』一見、全く別の事のように感じますが、隣同士にあって子どもにとっては同じ世界の事として受け止めているのかもしれない。速いテンポで次々と移り変わる映像の刺激に、一喜一憂する子どもたち。それも当たりの姿ですが、時には『アナログ』の世界に浸って、親子でまったり・ゆったりするのはいかがでしょうか？絵本の1枚ページをめくるたびに、新しい世界が広がり、驚きや発見に心躍らせる時間もまた、『リアル』であり『ファンタジー』でもある素敵な時間になること請け合いです。《YouTube》《iPad》容認派の40歳になる息子が、孫の手にした絵本を見て『あっ、これ父さんも見たことあるよ！』と、楽しそうに膝の上の子どもと絵本をみている姿を見て、ちょっとほっこり、そして安心した瞬間でした。



つくし

月齢によって成長はそれぞれですが、心も身体も大きく成長した1年でした。小走りで追いかけてっこをしたり、友だち同士でお話をしたりと微笑ましい光景が毎日見られます。移行も始まり、新しい環境の中でも好きな遊びに集中している姿、年上の子どもたちを真似しながら生活の流れを覚えている姿も。そんなみんななら大丈夫！これからの成長を楽しみにしています。

さくら

人数が増え、2クラスで始まった新しい幼児での生活。コロナの影響で、思うような活動・体験ができない日々が続きました。限られた中で発揮された、子どもたちの遊びへの工夫！「こういう事できるんだ！」と、嬉しい発見がたくさんありました。😊成長しか知らないパワフルな子どもたち!! これからも一緒に成長していきたいと思わせてくれた、楽しい1年でした！

子どもたち以上に先生方の成長も著しく、こんな風に子どもたちの成長を楽しみ、見守ってくれた、職員たちに感謝、感謝です！
園長 井澤



今年度もまた、コロナに翻弄される1年でしたね。

そんな中でも、ひばりっこの子どもたちは、手洗いやうがいなど感染予防の話をちゃんと聞いて、実行してくれていました。まだまだ終息には時間がかかるかもしれませんが、今まで同様、子どもたちと一緒に感染予防に努めたいと思います。1年間ご協力ありがとうございました。

看護師 村井 容子

子どもたちみんなから、たくさん話しかけてもらえて、嬉しかったです。今年も、給食をよく食べてくれました。来年度もおいしい給食作り、がんばります！
給食室



今年度初めてのひばりっこでしたが、子どもたちと一緒に、野菜や草花を育て、収穫することができて、楽しくすごすことができました。来年度もよろしくお願いします。石井



☆1年間、ご理解ご協力本当にありがとうございました

ひばりっこの
1年間



この真剣な
まなざし！

なでしこ

ひとい遊びが多かった子どもたちも、今では会話をしながら、ごっこ遊びを楽しむ姿が見られ、子ども同士のかかわりに成長を感じています。お友だちの名前を呼び合い、いつも賑やかで、元気いっぱいな、なでしこ組さんです！

たんぽぽ

昨年度から移行してきた時は、まだまだ赤ちゃんの雰囲気だったピンク帽子さんが、今は、つくしさんから移行してきた赤ちゃんたちに優しくしてくれる、お兄さんお姉さんです。むらさき帽子さんも、幼児クラスで生き生きと過ごしていて、1年の大きな成長をあらためて感じています。これからのみんなの成長もとても楽しみです。

ゆり

年間を通してぬり絵は不動な人気の遊びの一つでした。よく観察してみると、年長さんの女子の作品を「ちらっ！ちらっ！」と見ながらめっている3・4歳児。そこのテーブルにはいくつものそっくりな作品ができていました。「真似したいな〜♡」と思ったのでしょう。日々の積み重ね、男女問わずきれいに塗る子が増えています。ぬり絵にとどまらず、その他レゴブロックや箱ブロック・折り紙など、年上の子の遊びを見て学ぶ子も多く、縦割り保育のいい面が出ています。このいろいろな刺激が引き続き受け継がれていきますように！